

1、開催日時：平成20年8月29日15：00～16：50

1、開催場所：秋田県臨床検査技師会事務所

1、当技師会理事数 25名

参加理事：菅原博之、畠山義彦、藤田美好、阿部 毅、宮野勇徳、三浦徹、奈良悦子
三浦浩子、伊藤 功、伊藤良子、伊藤優子、小笠原彰、田中喜美子
中川聡、鈴木睦子、高橋和則 以上16名

欠席（○委任状提出者）理事：○岩谷幸栄、○川上 登、○安部真理子、○高橋稔、
○榊田由美子、○遠藤正志、○菊地孝哉、佐藤寛、渡部晃以上9名

参加理事16名、委任状提出理事7名、計23名で総理事数の過半数を超えており
今回の理事会は成立した。

1、書記：鈴木睦子

1、議事録署名人：宮野勇徳、佐藤 寛

1、議事内容：菅原会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けながら
審議された。以下に審議内容・決定事項を示す

議 事 議長 菅原会長

<書記の選出>

- ・ 書記は、中央 県北 県南 由利の順で行われており、今回は由利より鈴木睦子が選出された。

<議事録署名人の選出>

- ・ 宮野勇徳、佐藤 寛の2名が選出された。

I、会長挨拶

今回、微量採血用穿刺器具の不適切な使用により経費の出費となってしまった。

その事に関しての諸々の経過報告と、今後の対応を考え、説明、報告をした上でご理解をいただき、今後この事に伴い予想される事を討議していただきたいと思い集まっていた。それ以外として、7月12日日臨技各都道府県会長連絡会議に出席した。今年の12月日臨技は、公益社団法人の申請をするが、それに伴い地区技師会、都道府県技師会、日臨技の関係がどの様に維持されていくかという事が大まかな主旨で質疑応答がなされた。最終的には公益社団法人に向け協力して欲しいとの要請であったが

①日臨技の内部利用金の使いみちについて

②3年計画の精度保障事業部は、今年2年めになる。全体で165基幹施設になった。

日臨技のメイン事業として来年も継続したい。この2点が気になる事項だった。
今日は、重要な報告があるのでよろしく審議をお願いしたい。

II、平成20年度第2回理事会（平成20年7月4日開催）の議事録の確認訂正、追加
（太字 訂正、追加）

- 1、学術部門前年度配当金残金まだかえってきていないので返金ねがいます。

高橋理事：残金12万円余り返ってきたが、前年度の会計がしめられているので
そのまま留保とし学術等足りない時は出したいと思う。

- 2、FM樺台コマーシャルの件は予算的に対応できるので7-8月の共有化委員会で話し
合う。

菅原会長；メンバーが多少入れ替わった事もあり継続し、今年度は見送りたい。

- 3、基幹3施設の代表三浦さんが秋田組合病院に転勤になったのでその3施設（由利、山
本、平鹿）の中から代表を出してくれるように技師長あてにお願いを出した。

（由利）→大学病院

菅原会長：ある程度進められているので、今年も三浦さんに継続してもらい
来年検討したい。

- 4、県学会その日に理事会を開いて全員参加になるようにしたい。

宮野理事：議題は決まっていないが学会当日にあわせる事とする（第4回理事会）
部門長、分野委員名簿を三浦さんをお願いしてあるのででき次第、確認します。

三浦学術部長：生理部門、総合管理部門が決定していないので、決まりしだい報告
したい。

- 5、技師会員名簿名前を載せてほしくない人は載せない方向で・・・。

1施設2～3部程度。

藤田副会長：今年度1名から不掲載の要望があり、1名を除き作成していきたい。

秋田県の地図も載せ、支部の所在をはっきりして欲しいとの要望
があるが全県を網羅するのはなかなか難しいので検討事項としたい。

- 1) 第49回東北医学検査学会功労賞・奨励賞の推薦について

○功労賞 技師会に長年貢献、協力いただいた方 衛検 原田 誠三郎さん

奨励賞 五十嵐病院 佐藤峰子さん

衛検 → 県環境センター

峰子さん→峯子さん

推薦については会長が薦めていくこととする。

5) 平成20年度事業計画進捗状況について

②生涯教育（新人）研修会

本年度新規加入者13名、 昨年度加入者21名。 新人の方向人かに世話人になってもらって要望を聞いて9月ごろを予定。

畠山副会長 : 9月20日（土） 13:00～16:00

秋田県総合保健センター第3研修室

**技師会の説明 菅原会長 三浦学術部長 伊藤理事
担当理事**

終了後食事会を予定している。

③管理監督者研修会

本荘の学会とジョイントしたい。事前に研修会を行って学会のシンポジウムへもっていく。テーマ「検査室運営責任者と検査技師のスキルアップ」・・・仮題

畠山副会長 : 8月1日（金）世話人会を事務所で開催。

由利本荘の学会とジョイントしているので、ある程度の方向付けは決まっている。ただネックになっているのは「病院の各先生方から検査室技師に対する意見を伺いたい、そのためのアンケートをとりたい」というところで、どういうアンケートにするかまだ決まっていない。それ以外の、進め方その他についてはだいたい見通しが立っているので、由利本荘の学会は何とかなると思う。

テーマに関して「検査室運営責任者と検査技師のスキルアップ」を遠藤実行委員長の意向により「元気の出る検査室、、にしたい」と変更になった。後日案内する予定。

④福利厚生事業。

秋に行きたいが今のところ白紙状態。

畠山副会長 : 未定である。

担当理事と相談して決めたい。

⑥健康と臨床検査展

第23回健康と臨床検査展 平成20年11月19日（日曜日）

8時45分から15時 30分まで 場所：アルベ・

11月19日 →9日

アルベ→ 秋田拠点センター アルヴェ

⑦健委託事業

健→ 県

⑧その他（県学会での部門研修会について）

菊地さん今回技師会の会計をしているので菊地さんにその部分をお願いできないだろうか？学会のほうで会計担当を別のときに設けていらっしゃるでしょうか？

削除 会計担当を別のとき→のとき

学会のほうも菊地さんに任せている。140万という予算があったので、それがどういう打ち明けになっているか、去年・一昨年の学会会計を資料出して調べ、配分を考えたのが、さっき述べたことです。

打ち明け→ 内訳

研修会に関して技師会からこういう風な話で、もしかしてその部分に関して3ぶんの1位のあれが負担として願うということも・・・

削除 3ぶんの1位のあれ→あれ

多少は出るかもしれないがその部分は、なんとか学会のほうにも負担してほしいということをお願いしたい。どうしてもできないとなれば、学術でできるしかないので理事の方には理解しておいてほしい。

学術でできる→学術予算で出す

6) 第50回東北医学検査学会について

特別会計通帳に500万円+ α +去年の繰越金10万円ある。

**特別会計通帳に500万円+ α +去年の繰越金→5、134、302円の残高
(4/17現在)**

III、議事

- 1) 精度管理事業 (三浦学術部長)
- 2) 「微量採血用穿刺器具の不適切な使用について」の経過説明
- 3) 上記の件にもなう経費支出について
 - ①秋田魁新報社広告費 ¥460、057
 - ②事務所待機者費用 ¥ 33、600 (800円 x 7時間 x 6日)
 - ③その他の費用
 - ④特別会計からの支出をお願いしたい
- 4) その他
- 5) 事務連絡 (事務局より)

菅原会長進行のもと、次第に従って会議を進めていった。

1) 精度管理事業（三浦学術部長が前回欠席のため今回報告）

今年度も例年通り11月を予定している。

日程、内容については、9月10日（水）事務所での会議で決まる。

春の総会でも提案しているが、今までは3日間（精密さという事で）精度管理の委員が資料を購入し各施設に配布してきたが、今年からは各施設の内部精度管理のデータを記入してもかまわないと考えている。内部精度管理をしている施設においては、測定が楽になるかと思われるのでご協力をお願いしたい。

菅原会長：精度管理事業について秋田医報（8月15日付けに掲載、県との質問形式）に金常任理事が「県が予算化して計画して欲しい」と要望した。

現在精度管理は、県医師会と、検査技師会の協同事業として行っているが、県の事業として独自に行って欲しいと強く要望したが、県は前年と同じ様な回答をした。県もある程度動かざるを得ない状況になってきているため、精度管理事業について県から聞かれるかもしれないので、その事も念頭におきながら今年度の事業計画を進めていってもらいたい。皆様にご協力をお願いしたい。その他、ここ数年メンバーが固定化されているため、役割分担等の新しい組織図作成を詰めていかななくてはいけないと思っている。

今回はその事を踏まえ、内容、委員がほぼ同じであることから、共有化委員会、精度管理委員会を同時開催する事にした。

（最終到達ラインは同じであるため。）

日臨技が行っている精度管理保障部を上組織として、共有化委員会、精度管理委員会を作ることで再編成を考えていきたいと思っているので、皆様にもご協力をお願いしたい。

2) 「微量採血用穿刺器具の不適切な使用について」の経過説明

資料に基づき阿部副会長が説明。

新聞掲載後の翌日25日から、菅原会長、泉谷さんに終日事務所に勤めてもらい電話の対応をしてもらった結果、本日まで1名から検査依頼がきている。

これらの経過をふまえ、平成20年度事業予定変更の提案が提出された。

菅原会長：今回の事態は、会長である私の不徳の致すところであり、事業責任は、私にある。突然経費が50万円出る事になってしまった。県民に対しては謝罪広告を掲載したが、会員には出していないので、説明、報告と謝罪文を出したいと思っている。最終的に会員の皆様方のご判断に委ねるという意味でこの場で審議していただき、承認を得たい。

今回の経緯に関して、理事の方々は聞かれたら説明できるように理解して

いただきたいと思う。

謝罪文について理事の承認が得られ、

責任者、会員各位宛に、技師会「健康と臨床検査展」における微量採血用
穿刺器具の不適切な使用についての報告と今後の対応について

(秋臨技 第20-13号)を8日(月)発送する事となる。

50万円の支出の発生、

第23回健康と臨床検査展平成20年11月9日(日)

の中止も承認された。

*1名の肝炎関連検査希望の方は、秋田市立病院(自宅が新屋)

で精密検査を受ける事となる。

検査技師会は、市立病院と委託契約を結び来週中に締結される。

それに基づき、受診券を発行し、検査料金は検査技師会へ請求する。

結果はおよそ2週間後、市立病院から検査技師会へ報告され、

その結果を技師会が相手方に説明、報告する。

- 3) ④高橋理事: 第23回健康と臨床検査展の予算30万円+前年度繰り越し金の中で
何とかやりくりしたいと考えているが、どうしてもならない時は特別会計
から支出する事になると考えているのでよろしくお願ひしたい。

| | | |
|---------------|-----------|-------|
| 菅原会長: 1名の検査料金 | HCV抗体精密測定 | 1200円 |
| | HBs抗原精密測定 | 950円 |
| | 判断料 | 1440円 |
| | 採血料 | 110円 |
| | | ===== |
| | | 3700円 |

調査の契約は1ヶ月とする。

- 4) 畠山副会長: 公益社団法人の手続きについて

8月25日(月)伊藤理事と、県庁での説明会に出席した。

今年の12月以降、向こう5年間の間に一般社団法人から公益社団法人へ
移行となるが、申請の内容が細かく面倒なため手続きには、かなりの時間
がかかる。会長とも相談しながら出来るだけ早い方向で申請したいと
思っている。

菅原会長： 東北学会実行委員会の準備金について

前回の理事会では、金額を決めなかったので今回決めたい。

田中理事を代表者名とし、一般口座を作り、

第50回東北医学検査学会実行委員会の準備金（7人派遣）として
50万円を引き出す事とする。

鈴木理事： 第33回秋田県医学検査学会について（本荘、由利支部担当）

一般演題の申し込が、8月25日（月）から始まりましたが、

まだ申し込みがありません。締め切りは9月20日（土）。

広告掲載については現在4社からの申し込みがありました。

締め切りは9月27日（土）。

理事の方からも働きかけをお願いします。

シンポジウムは「元気の出る検査室...にしたい」をテーマに

畠山副会長を先頭に進めてもらっていますが、本荘由利支部でも

出来るだけ手伝いたいと思いますのでよろしくお願いします。

研修会費について（菅原会長へ）

前回の理事会で、遠藤実行委員長から研修会の予算についての質問が

あった様ですが（学術費、学会費のどちらから出すのか）その後、

部門長とも相談し、学会費から1部門に3万円を出す予定にしましたが

如何でしょうか？

会長の承認を得、学会費から12万円（4部門×3万円）を出す事となり、

広告掲載についての情報を、菅原会長へ定期的にメールで送る事とする。

社団法人 秋田県臨床検査技師会

書 記 鈴木 睦子

議事録署名人 宮野 勇徳

議事録署名人 佐藤 寛